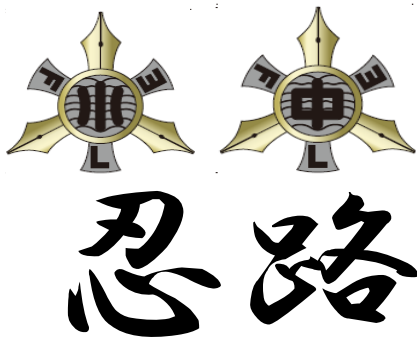




教 育 目 標

かしこく
やさしく
たくましく

令和8年7月21日
忍路中央小学校
忍路中学校
学校だより4号
本庄 有希子



忍路小中HP <https://www.otaru.ed.jp/osyoro-psjh/>

今「あたたかい言葉」を、一歩踏み出す「行動」へ

校長 本庄 有希子

子どもたちが待ちに待った夏休みが始まります。この1ヶ月、児童生徒たちは、忍路・蘭島の豊かな資源を肌で感じる「ふるさとキャリア教育」に取り組んできました。鯨場の会の方から「オーシコー、オーシコー」という伝統の船漕ぎの唄と漁業の歴史を学び、塩谷小学校の児童とともに蘭島川で生き物を観察し、地域の農家さんの畑で真っ赤なトマトの甘さの秘密を学び、かき氷店「とべんぺ」の方からは働くことの喜びを教わりました。あたたかく子どもたちを迎え、貴重な学びの場をつくってくださった地域の方々に、心より感謝申し上げます。

また、蘭島海水浴場組合さん協力のもと、蘭島海岸の清掃を行い、蘭島保育所の園児たちも迎えて、海上保安庁による海の安全教室も開催されました。忍路・蘭島の宝物である「海」の豊かさと安全について深く考える大切な時間となりました。

「海・海岸」といえば、昔、入試の面接練習で「あなたの尊敬する人は誰ですか？」の質問に「伊能忠敬」と答えた生徒がいました。今から200年以上前、日本の海岸線をひたすら歩き続け、日本で初めて正確な日本地図を作った人物です。忠敬が本格的に天文学や地図作りの勉強を始めたのは、その当時の寿命と言われていた50歳を過ぎてからのことでした。もともとは商人として成功していましたが、「地球の大きさを知りたい」という強い好奇心から、周囲の「今からでは遅すぎる」という声をはねのけ、若い師匠に弟子入りしたのです。そして55歳のとき、蝦夷地の測量を皮切りに、日本全国を巡る果てしない旅に出発しました。当時、GPSなどの便利な機械はありません。忠敬が使ったのは、自らの「歩幅」でした。一步をきっちり「69センチメートル」と定め、同じ歩幅を保ってひたすら海沿いや山道を歩き、その歩数を数えることで距離を測ったのです。測量の旅は全10回、17年間にも及び、歩いた総距離は約4万キロメートル。これはちょうど地球一周分に相当します。道中は険しい崖を登り、夏の酷暑や冬の酷寒に耐える命がけの旅でした。途中で大切な仲間や最愛の息子を亡くすという、言葉にできないほど過酷な道のりでもありました。忠敬は地図の完成を見届けることなく74歳で亡くなりますが、弟子たちは彼の強い意志を受け継ぎ、その死を隠してまで測量を続け、ついに一寸の狂いもない美しい「大日本沿海輿地全図」を完成させたのです。

世界に誇るこの偉業も、すべては毎日コツコツと積み重ねた、あの「69センチメートルの一步」から始まっていました。これから始まる夏休みは、約30日間あります。学校を離れて自分だけの「一步」を踏み出すチャンスです。

「毎日1ページ、教科書を開いてみる」

「毎日10回、逆上がりの練習をしてみる」

「毎日10回、家族のために自分ができるお手伝いをしてみる」

どんなに小さなことでも構いません。大切なのは、自分で決めた「一步」を、毎日コツコツと踏み出し続けることです。1日1日は小さな一步でも、30日間積み重なったとき、子どもたちの中には誰も真似できない「自信」という大きな地図ができあがっているはずです。

安全と健康には十分に気をつけて、自分だけの「一步」を踏み出す素晴らしい夏休みにして欲しいと思っています。



標準学力調査について

4月に実施しました標準学力調査について、実施した児童生徒へ調査結果を返却いたしました。学校全体の課題と改善に向けた取組についてお知らせします。

・一人一台端末を積極的に活用し、デジタルドリルに繰り返し取り組ませたり、学年までの学習内容に立ち戻った学び直しや反復学習等による補足的な指導を取り入れたりすることで基礎的な学習内容の確実な定着に努めます。

・「書く力や伝え合う力」の定着に向けて、小学校では必要な情報を選んで書くことや、目的に応じて書くことを意識して、個に応じたスモールステップを大切にしながら指導していきます。中学校では、発表や交流の場面を積極的に設定し、分かりやすく伝えたり、注意深く聞いたりするなど相手を意識した発表ができるように指導していきます。

小中 海浜清掃

7月7日(火)に今年度も小中学校の児童生徒全員で、蘭島海岸の海浜清掃を行いました。

清掃前には蘭島海水浴場組合長の山口さんから、「蘭島海岸は毎年たくさんの方が訪れる美しい海水浴場なので、みなさんと協力してこの美しさを守っていきましょう。」とお話いただきました。

青い海が目の前に広がる暖かい天気の中、中学生がサポートをしてくれながら小中共同で清掃活動に取り組みました。流木やゴミを拾い、海開きを前に、海浜をきれいにすることができました。



小中 海の安全啓発活動

7月10日(金)に、蘭島海水浴場の海開きに合わせて、海上保安庁による海の安全啓発活動が行われました。当日は、雷注意報が発令されていたため、急遽、本校体育館で実施されました。

蘭島保育園の園児の皆さんと一緒に、安全な海水浴場の利用に関する〇×クイズに答えたり、実際にライフジャケットを着用し、緊急時に居場所を知らせるための笛を鳴らす体験をしたりしました。

多くの報道機関が取材に訪れ、インタビューに答えたり、マスコットキャラクターの「うみまるくん」と記念写真を撮ったりしました。これから、海水浴シーズンとなります。安全に気をつけ、楽しく遊泳してほしいと思っています。



小 ふるさと学習

7月7日(火)に小学校のふるさと学習が行われました。今年度は、農業・忍路のトマトについて学習しています。

先月には塚本さんに苗の植え方や育て方を教えていただき、今回は、塚本農園を訪問し、インタビューをしたり、実際に収穫をして試食をしたり、トマトについて知識を深めることができました。



小中 潮踊り講習会

7月14日(火)に「潮踊り講習会」が行われました。ふるさと学習の一環として、藤間扇久華先生を講師に迎え、潮ねりこみの練習を、保護者や地域の方と一緒に行いました。

踊りの礼儀作法について始めに確認しました。その後、「潮音頭」や「潮踊り唄」ができた歴史や踊りの由来、声のかけ方などについて学びました。両手にうちわを持ち、汗びっしょりになりながら、楽しく踊ることができました。保護者の方もご参加くださり、みんなで大きな輪になって、たくさん踊りました。

7月25日(土)には、「忍路小中学校PTA」梯団として、総勢30名以上が市内を元気にねりこみます。14時48分、サンモール商店街をスタートします。今年も藤間扇久華先生もサンモール商店街に駆けつけてくださり、子どもたちにエールを送ってくれます。



小中 合同バレーボール

7月14日(火)に小中合同でバレーボールの授業が行われました。小中学生が3チームに分かれて、試合をしました。

小学1年生はバウンドしてキャッチしてもよい、小学生はパスの2球目はキャッチしてもよいなど、みんなが楽しめる忍路ルールで行われ、みんな汗びっしょりになりながら、バレーボールを楽しみました。2学期の合同体育も楽しみです。



学校閉庁日について

中学校は明日から、小学校は24日から夏休みが始まります。夏休み中は、けがや病気をする事なく、安全に気をつけ、元気に過ごしてほしいと思っております。長い休みを利用して、読書や自由研究など普段できないことにぜひ取り組んでみてください。

夏季休業中の学校閉庁日は、学校への緊急連絡先は小樽市教育委員会となりますので、ご確認をお願いします。

※小樽市教育委員会(代) 32-4111

※学校閉庁日 8月11日(火)、12日(水)、13日(木)、14日(金)、15日(土)、16日(日)